

「特定機能病院等における入院医療に係る医療機関別の包括評価」に関する調査結果

(中間集計Ⅱ)

平成14年11月27日

1. 調査の概要
2. 医療機関別在院日数の状況
3. 診断群分類(原案)別在院日数・点数の状況(抜粋)

(注) 平成14年10月末時点で厚生労働省が受領したデータを対象として作成したデータベースに基づいて分析した結果であり、現時点での暫定値をまとめたもの。

1. 調査の概要

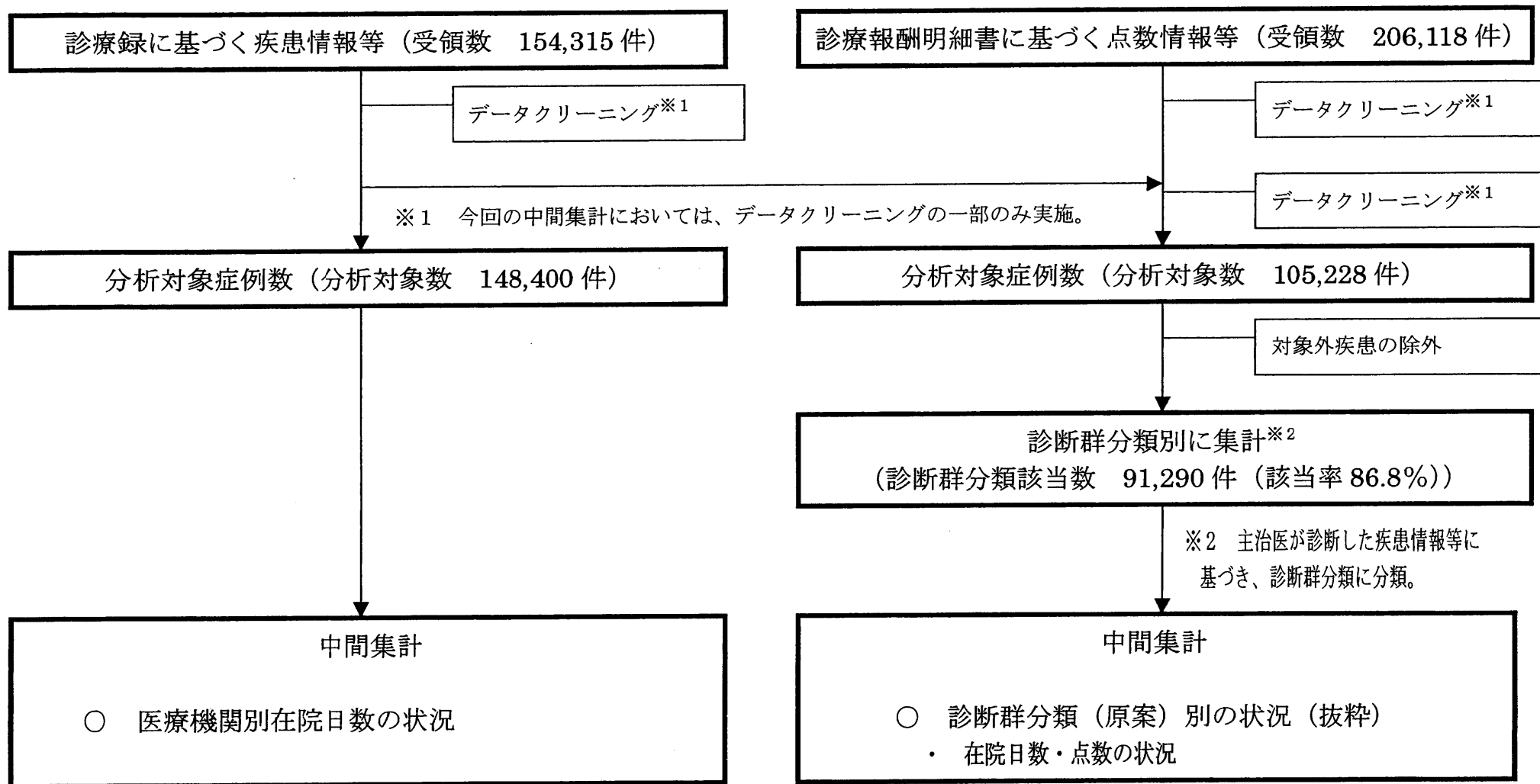
- 特定機能病院等における入院医療に係る医療機関別の包括評価を円滑かつ適正に導入するために、平成14年7月から10月までの退院患者を対象とした「診療録情報（診療録に基づく情報）」及び「レセプト情報（診療報酬明細書に基づく情報）」等に係る調査を実施。

【調査の概要】

- ア 対象医療機関
特定機能病院等（大学病院、国立がんセンター、国立循環器病センター）
 - イ 調査期間等
平成14年7月から10月までの退院患者に係る情報を収集
 - ウ 調査内容
 - ・「診療録情報」
 - ・「レセプト情報」
 - ・「施設調査票」
- 今回の中間集計Ⅱでは、平成14年10月末時点で厚生労働省に提出された診療録情報及びレセプト情報に基づき、中間集計を実施。現時点では、医療機関によりデータの提出状況は異なっている。

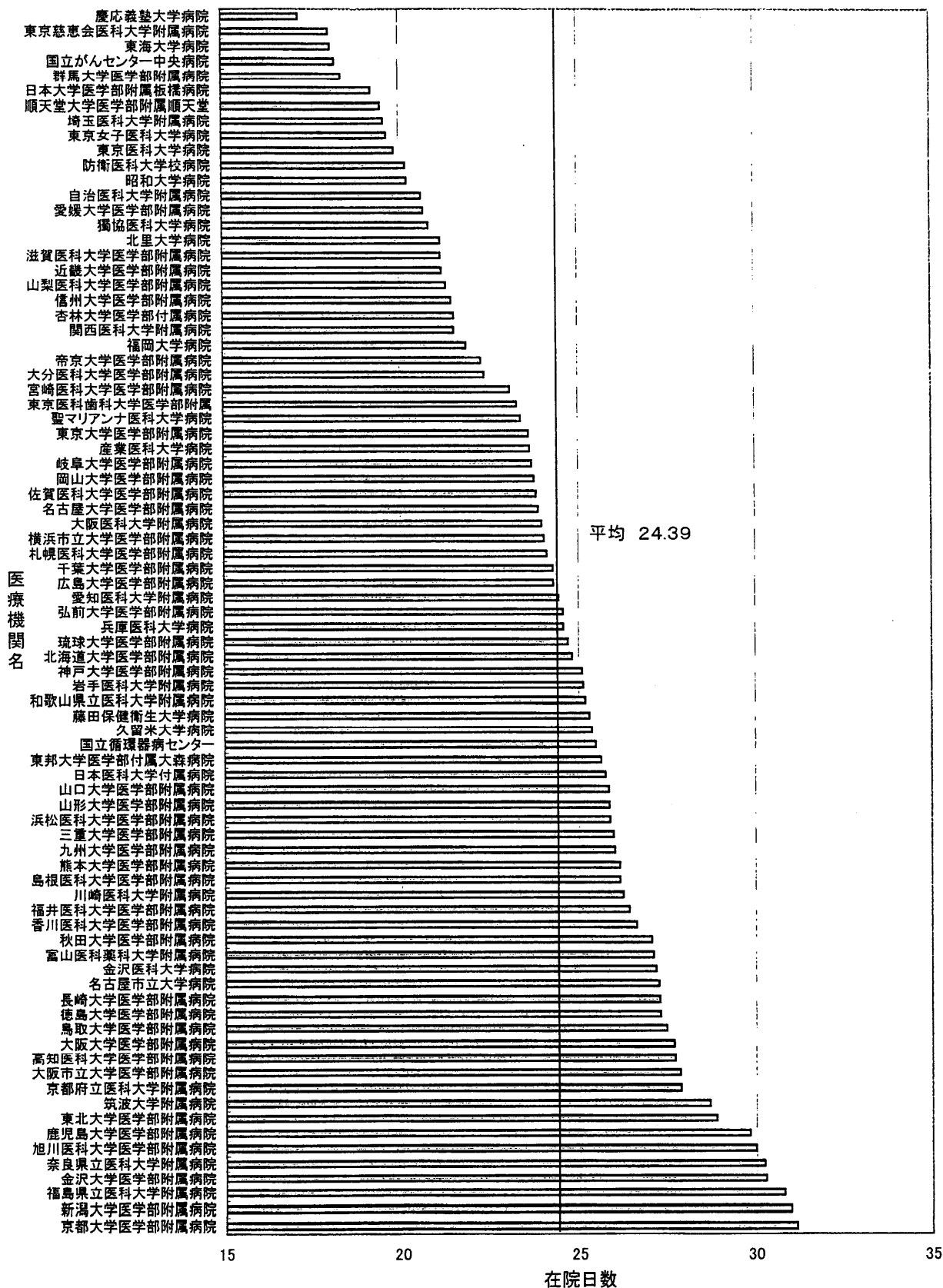
(参考)

データの処理フロー



(注) 包括範囲点数は、急性期入院医療の定額払い方式の試行の包括評価の範囲を参考として集計。(ただし、処置は包括範囲の対象外)

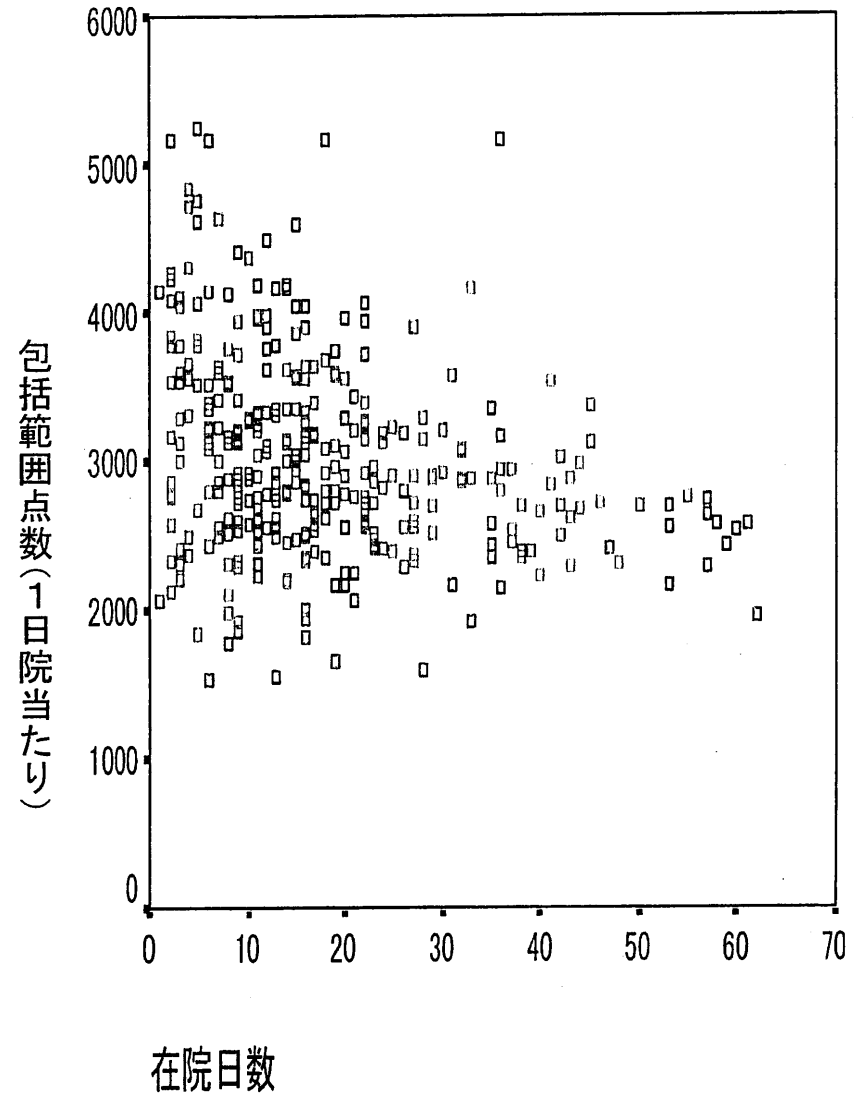
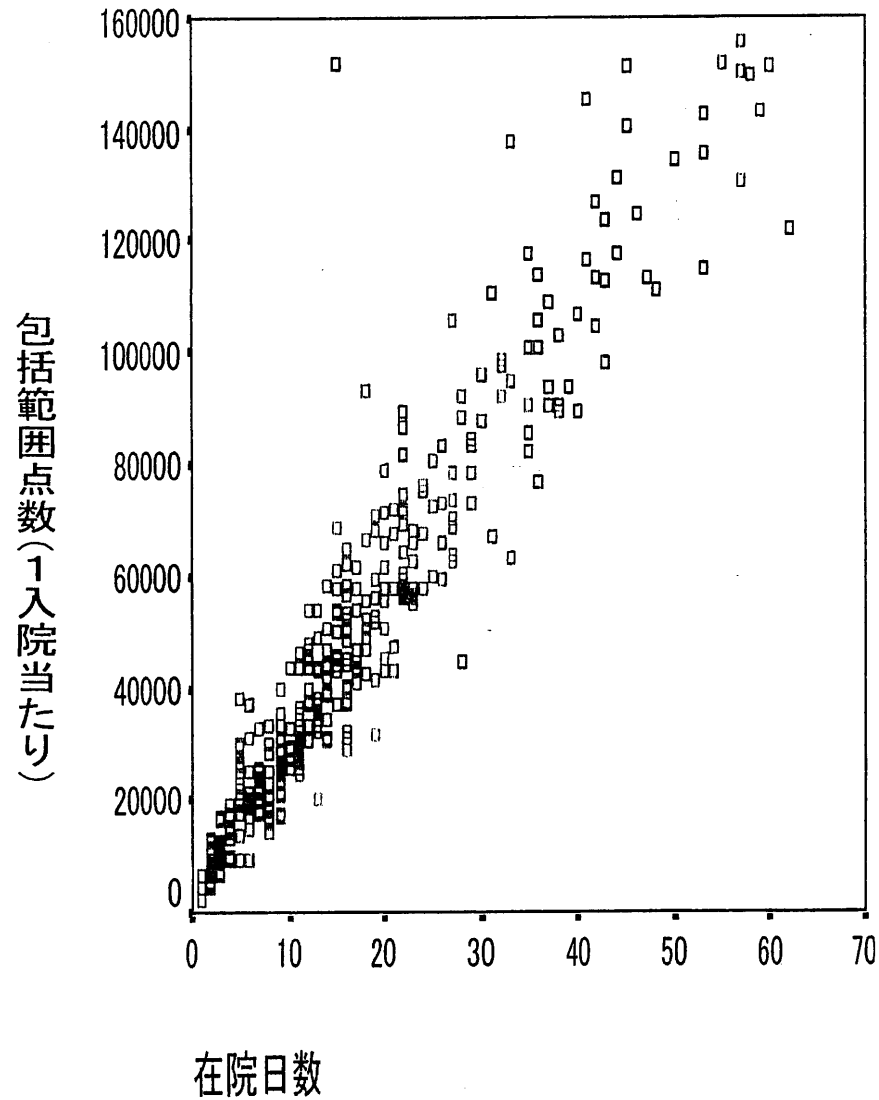
2. 医療機関別在院日数の状況



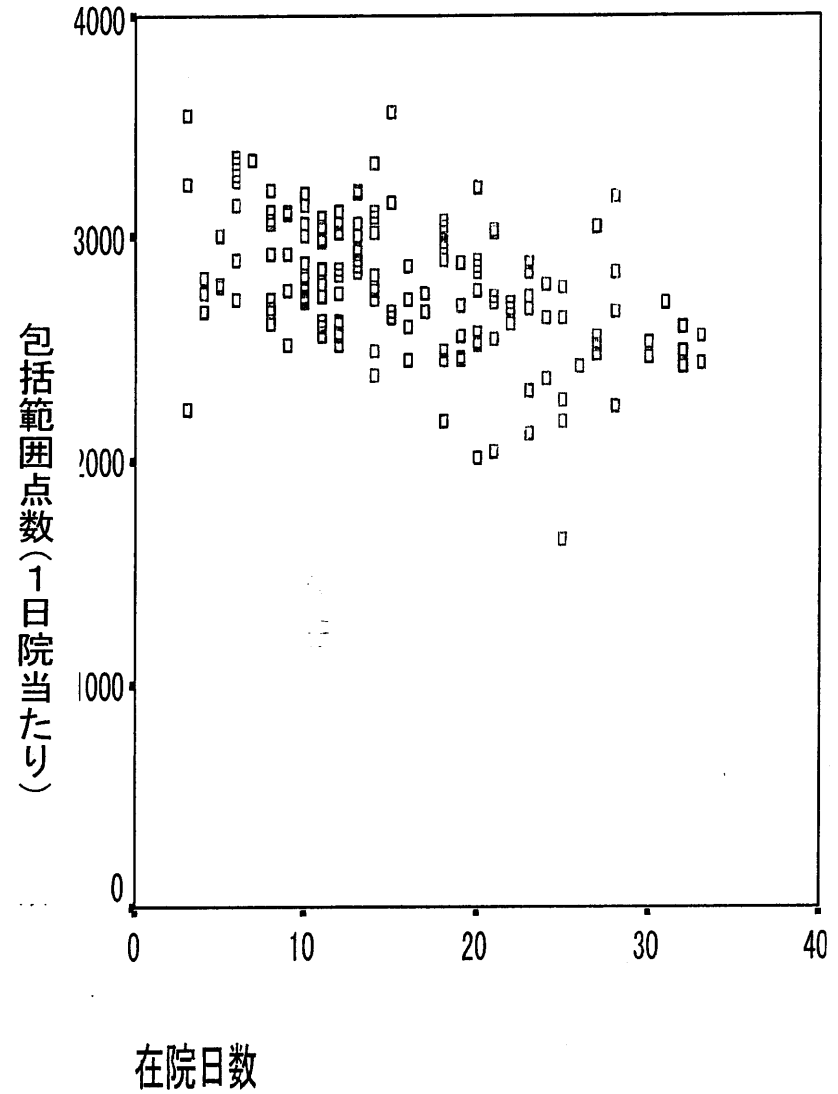
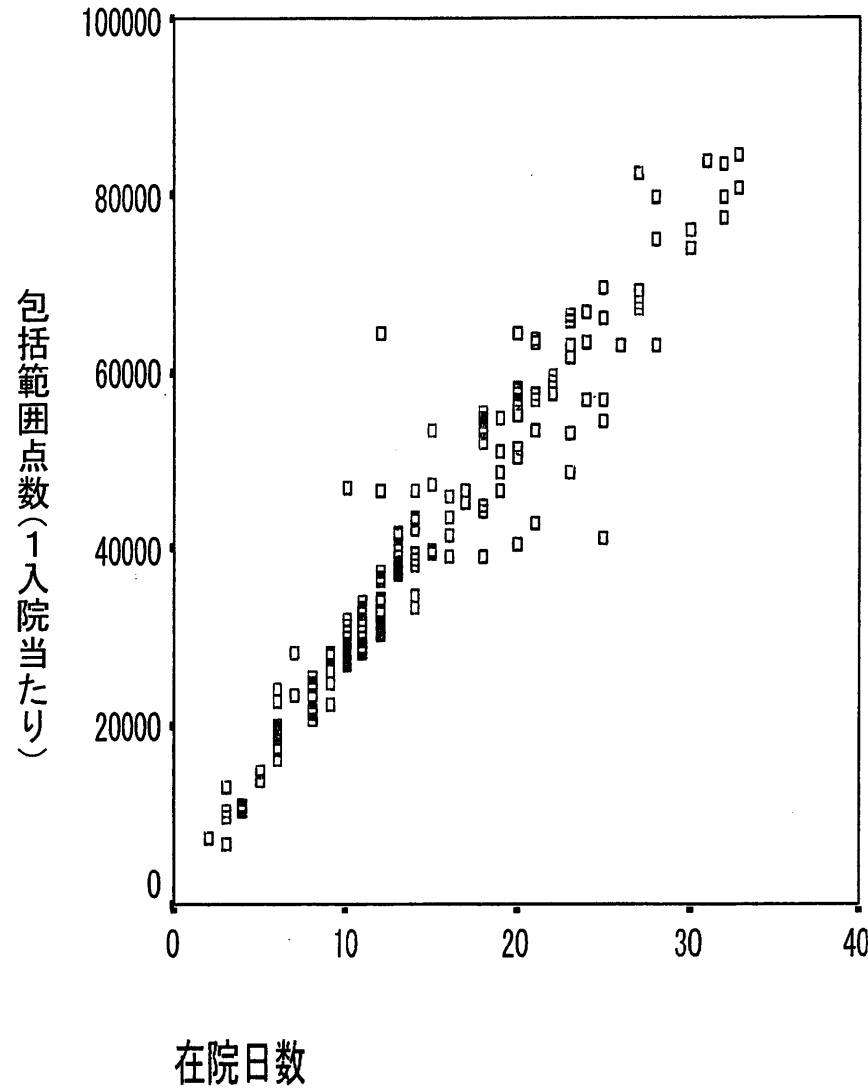
注：平成14年7月及び8月に退院した患者を対象として集計

3. 診断群分類（原案）別在院日数・点数の状況

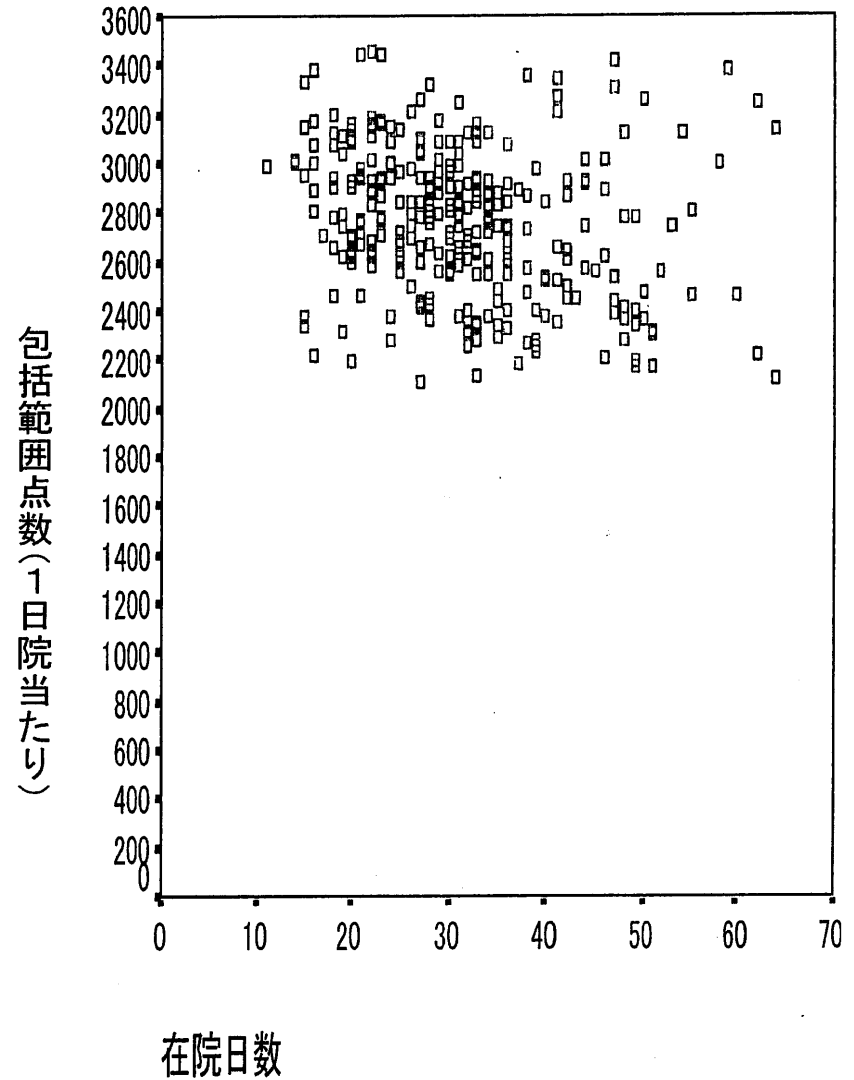
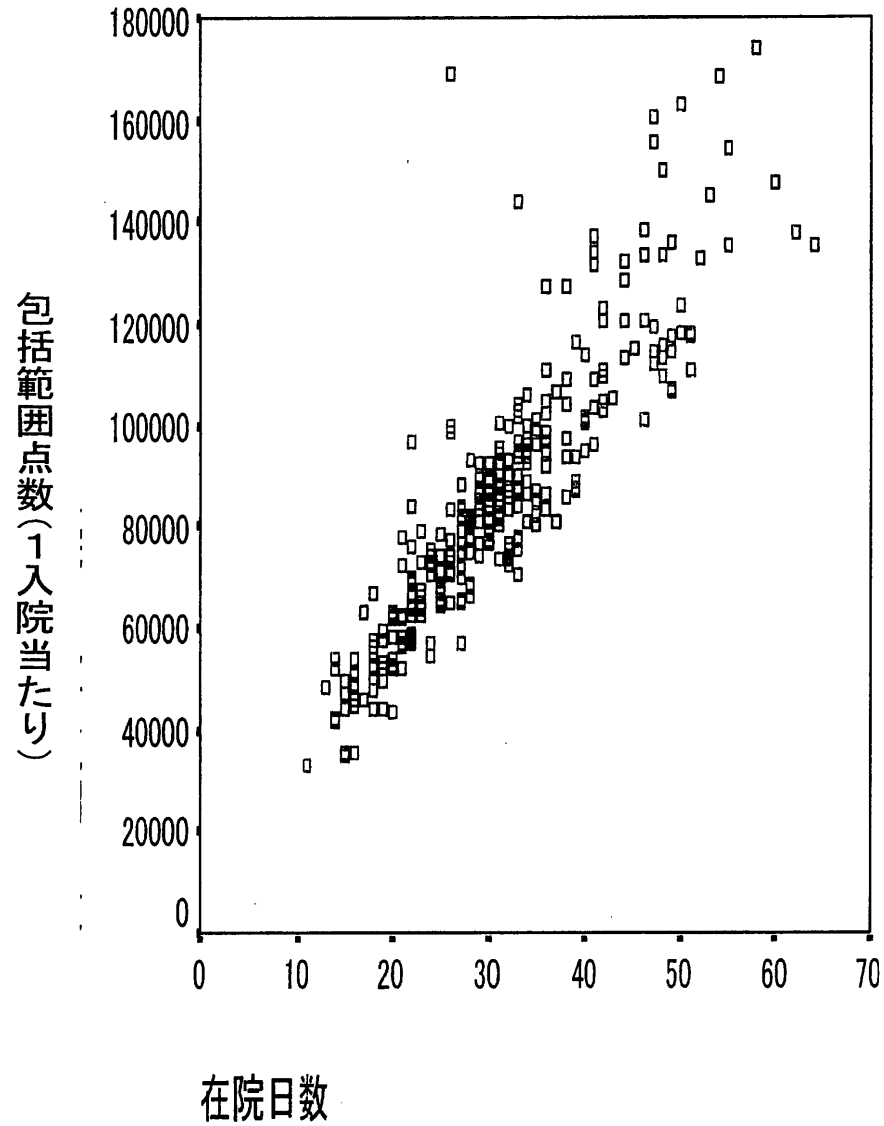
胃悪性腫瘍→手術なし→副傷病なし



胃悪性腫瘍→胃内視鏡手術→副傷病なし



胃悪性腫瘍→開腹胃部分切除術→副傷病なし



胃悪性腫瘍→開腹胃全摘的術、噴門部胃切除術→副傷病なし

